

科目名 Course Name	家族論 Life-Span Developmental Psychology			ナンバリング No.	A2-003		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	藤田 依久子						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2						
授業の概要と 到達目標	<p>我々個人が発達するだけでなく、家族及び家族関係、家族システムもまた生涯を通じて、発達変容をし続ける。本講義では、心理学の知見を用いて、受講者諸君が家族の在り方について考えるための提言をしていく。</p> <p>従って到達目標としては、</p> <p>①家族の発達過程を理解し、説明できるようにする。</p> <p>②家族機能の変化とその関連要因について説明できるようにする。</p> <p>③家族をめぐる様々な問題と、それに対する介入の実践的知識を得て、基本的対応行動を採れるようにする。</p>						
授業の方法	視覚教材等を活用しながら講義形式にて進行する。単元の終了ごとに小テストを行う。学期末に筆記試験を実施する。						
学習成果	L01	自分の家族のことだけでなく、社会問題としての家族問題に関心を持ち、考察することができる。					
	L02	支援を必要とする家族に対し、適切な対応ができるようになる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	単元の終了ごとにコミュニケーションカードによる質問を受け付ける。翌週の授業はじめに共有が必要と思われる内容に関して共有する。						
教科書/ 参考図書	<p>教科書:</p> <p>参考図書:『家族心理学』相良順子編(ナカニシヤ出版)2022</p> <p>『子ども家庭支援の心理学』本郷一夫・神谷哲司[編](建帛社)2019</p> <p>『社会的子育ての実現』藤後悦子監修(ナカニシヤ出版)2022</p>						
履修上の留意点 やルール等	授業に主体的に臨む学生の履修を希望する。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務 経験	実務経験(公認心理師, メンタルコーチ, 医療心理士他 通算 27 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	他者の話真剣に耳を傾け、また、積極的にディスカッション・グループワークに参加し、講義や発表への疑問については臆さず質問すること。	20			
レポート/作品	生涯学習に関し、個人としてどのように実現を図るか、将来を見据えてレポートすること(総合:30%)。この他に、ディスカッションやワークに関する小レポート課題(計 20%)を課す。借り物の意見ではなく、自分の経験に基づく意見が記述されていること。	20	30		
発表					
小テスト					
試験	多問型と記述型を組み合わせた期末試験を実施する(自筆ノート持ち込み可)。エビデンスに基づいた論述となっていること。誤字・脱字が無いこと。自分の意見が論理的に記述されていること。	10	20		
その他					
合 計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション:授業の方法と計画の説明「家庭の生涯発達」とは何か、戸籍とは
	事前・事後学習	事後学習と次回事前学習を兼ね、人生100年時代のライフキャリアマップを作成する。
2	授業内容	家庭の形成と発達変容:結婚・妊娠・出産・離婚・個人の自立にまつわる問題
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
3	授業内容	家族と家庭:育児の問題 女性の育児・男性の育児
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
4	授業内容	家族と家庭:介護の問題 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況 多様な家庭とその理解
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
5	授業内容	家族と家庭:家族をめぐる問題 虐待 家庭内暴力 ヤングケアラー 養子縁組
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
6	授業内容	家族と家庭:家庭の意義と機能 親子関係・家族関係の理解
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
7	授業内容	変化の中で生き抜く:自分や家族に非常事態が発生する時
	事前・事後学習	現人生設計にアクシデントが発生した場合のセカンドプランを作成する。
8	授業内容	標準的家庭・標準的人生とは存在するのか ジェンダー・アイデンティティとキャリア発達 ワークライフバランスを考える
	事前・事後学習	身近なジェンダーギャップを見つけ、どういふあり方が好ましいかを考え、ノートに書く。
9	授業内容	多文化共生社会における家庭:多文化家庭の増加と共生
	事前・事後学習	事前学習として、これまでの実習で遇った多文化家庭の事例をまとめておく。(→授業内で報告する。)
10	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(1) 認知の理解と変容 共同体感覚
	事前・事後学習	アドラー理論を参考にして、自分の日常生活のあり方を省みる。
11	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(2) 目的論と勇気づけ ライフスタイル分析
	事前・事後学習	アドラー理論を参考にして、自分の日常生活のあり方を省み、ノートに書き出す。
12	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(3) 実践編
	事前・事後学習	ワークの結果を参照し、小レポートを作成する。
13	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(4) 実践編
	事前・事後学習	ワークの結果を参照し、小レポートを作成する。
14	授業内容	自分の家族史を振り返る 自分の家族を語る 自分の家族を再確認する
	事前・事後学習	事前学習として初回に書いたライフキャリアマップを再確認する。事後学習として総合レポートを作成する。今回ワークの内容は総合レポートに含める。
15	授業内容	まとめ:自分の人生をどう構築するか、他者の人生をどう支えるか 転機の意味 [総合レポート提出]
	事前・事後学習	これまでの授業内容をまとめ直し、期末考査に臨む。